

きずな

KIZUNA



人権クエスチョンvol.3

生きがいは 何ですか？

01 おもいきり笑って元気になったらど～や！… 2

辻本 茂雄さん(吉本興業ホールディングス株式会社)

02 高齢者の運転をめぐる… 3

市川 政雄さん(筑波大学医学医療系 教授)

03 “認知症が怖くない”地域社会づくりを目指して… 4

高見 美保さん(兵庫県立大学看護学部 教授)

04 高齢者にとってのITと
アンビエント・コンピューティングの可能性… 5

行木 陽子さん(中央大学 特任教授)

05 シニアのネットトラブルにご注意！
スマホやパソコンは便利だけど… 6

兵庫県立消費生活総合センター

06 インターネット社会と人権問題 …… 7

(公財)兵庫県人権啓発協会

現代に求められる命の基礎 …… 8・9

小林 恵俊さん(天台宗 姫路山 正明寺 法嗣)

書籍紹介「また、あちらで会いましょう」… 9

連載「国際社会と人権(3)
—ジェンダーギャップ指数」… 10

望月 康恵さん(関西学院大学法学部 教授)

ふれあいサロン …… 11

情報ぶらざ …… 12





01

おもいきり笑って 元気になったらど〜や!

吉本興業
ホールディングス株式会社
つじもと しげお
辻本 茂雄さん

1964年10月8日生まれ。NSC大阪校5期生。コンビ「三角公園USA」を解散後、1989年に吉本新喜劇に入団。1995年にニューリーダーに抜擢され、1999年に座長に就任。幅広い役をこなし、代名詞となる茂造はお茶の間の人気キャラとなる。2019年に座長を勇退後も主催イベントを精力的に開催し、チケットはいずれも完売となる。



Q 人気キャラクター「^{しげぞう}茂造」の設定や考案したきっかけなどを教えてください

A 平成元年に吉本新喜劇「やめよっカナ?キャンペーン」が始まり、新体制になって、今までに無い新しい新喜劇に挑戦することになりました。生命維持装置を製作する研究所が舞台の新喜劇で老人の博士の役に選ばれ、楽屋に置かれていたのがあのカツラです。そして茂造博士として出演! その時の茂造のキャラが面白くなかったので博士では無く、一般人の茂造じいさんを演じてみたら面白くなるのでは? というのがきっかけで誕生したのが茂造じいさんです!

Q 観ている人たちが笑顔になるために取り組んでいることを教えてください

A 一番大切にしているのは、お客様と共に楽しむ吉本新喜劇です。コロナ禍は無理になりましたが、やっと声を出せるようになって復活したのがお客様と一緒に茂造のギャグを言ってみたり、役者が演じているリアクションをお客様と一緒にやってみたり、凄く盛り上がる参加型の吉本新喜劇です!お客様が吉本新喜劇をライブで観て楽しかった! 来て良かった!と思ってもらえるように日々努力しています。

Q 大変だった時期や出来事があれば教えてください

A 私の夢はお笑い芸人ではなく、競輪選手でした。しかし両膝の骨に腫瘍が見つかり、それで競輪選手になるのを挫折しました。ですから、芸人を挫折せずに続けられているのは、本当に幸せで大変だった

と思う事はありません。あえて言いますと、新人の時に初めて舞台上で挑戦したギャグがスベって、水を打ったような静けさの舞台上が一番大変でした。今でもあの光景が目に残ります。

Q 辻本さんの原動力を教えてください

A 頑張れる原動力は年間3回の自分が主催する公演です。GW、祇園花月で茂造の夜芝居11日間、今年は天使の茂造・夏はNGKで辻本新喜劇7日間、年末は祇園花月で茂造新喜劇3日間、全て私の作・演出で公演しています! 台本制作は本当に大変です。1年の3分の2は台本創りに時間を使っています。普段の吉本新喜劇は45分ですがイベントは2時間のお芝居なので、どうしたら長時間笑って頂けるか? どうしたら感動して頂けるか? を考えながらの台本制作に取り組んでいます。苦勞はしますが、その全ての公演でのお客様の笑い声と笑顔と声援で我々はいつも元気を頂いています。これが私の原動力です!

Q 最後に読者に向けてメッセージをお願いします

A 是非、吉本新喜劇は一度ライブで観てください。迫力が違いますし、特に茂造の新喜劇はアドリブ満載です! ライブでドキドキハラハラの茂造の新喜劇で、おもいきり笑って元気になったらど〜や!





話してくれたのはこの方!



高齢者の運転をめぐって

筑波大学
医学医療系 教授
いちかわ まさお
市川 政雄さん

1973年生まれ。タイ国立マヒドン大学大学院修了、英国ウェールズ大学(現・カーディフ大学)大学院修了、東京大学大学院医学系研究科助手、筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授を経て、2010年より現職。専門は公衆衛生学・国際保健学。

運転中止に伴うリスクに配慮を

高齢運転者による重大事故の報道や免許返納の呼びかけに押され、運転をやめるべきかと思悩む高齢者は少なくないようです。運転をやめれば事故を起こすことはなくなるので、その点では安心です。しかし、車を運転しないと生活できない地域に住んでいる人にとって、運転をやめることは死活問題といっても過言ではありません。それでも高齢者は運転をやめるべきでしょうか。

交通事故統計によると、高齢運転者が起こす事故の発生率は年齢とともに徐々に高くなっていきます。しかし、10～20代の運転者と比べると、実はかなり低いのが実状です。一方、高齢者を対象にした追跡調査によると、高齢者は運転をやめると活動的な生活が送れなくなり、要介護や認知症になる可能性が高まります。それは裏を返せば、運転を続けることで要介護や認知症になる可能性を低く抑えることができるかもしれないということです。はたして高齢者は運転をやめるべきでしょうか。

高齢者の運転をめぐっては、運転継続に伴う「事故を起こすリスク」ばかりが注目されてきましたが、運転中止に伴う「健康を損なうリスク」にも目を向ける必要があるでしょう。

information

市川先生が分担執筆している書籍

「高齢社会における人と自動車」(コロナ社)
<https://www.coronasha.co.jp/np/isbn/9784339027723/>

「改訂版 セーフティプロモーション
安全・安心を創る科学と実践」(晃洋書房)
<http://www.koyoshobo.co.jp/book/b628151.html>

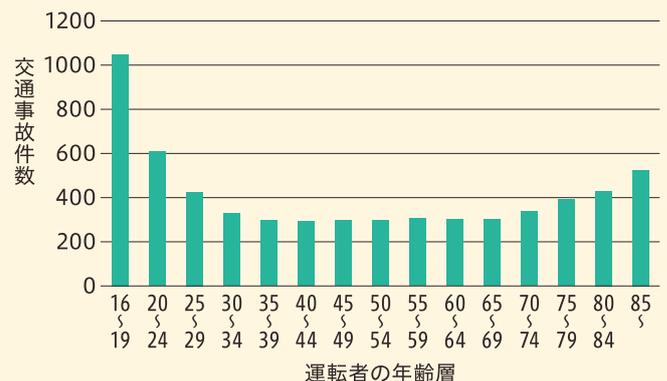
運転中止を見据えたライフプラン

車の運転を前提にした生活を送っている人は、運転を続けることで活動的な生活や健康を維持することができます。しかし、いずれ運転をやめざるをえないときが来るかもしれません。こればかりは個人差があるため、いつかはわかりませんが、そのときのために備えておくと安心です。

日常的に自分で運転して出かける方は、その場所・頻度・時間帯を書き出し、その場所へ自分で運転せずに出かける方法があるかどうか、出かける頻度や時間帯も考慮して考えてみてください。実際にその方法を試してみると、運転をやめたあとの生活をイメージできるかもしれません。不便を感じたり、そもそも移動できなかつたりするようであれば、周りの人と一緒にどのような移動支援が必要か考えてみてください。

今日、「事故を起こすリスク」をなくすために免許返納が呼びかけられていますが、「健康を損なうリスク」を抑えるための移動支援を求める声はもっと高まってしかるべきでしょう。

原付以上運転者(第1当事者)の年齢層別免許保有者
10万人あたり交通事故件数(2023年)



警察庁交通局「令和3年中の交通事故の発生状況」をもとに作成



話してくれたのはこの方!



“認知症が怖くない” 地域社会づくりを目指して

兵庫県立大学看護学部
老人看護学 教授

たかみ みほ
高見 美保さん

兵庫県立大学看護学部 生涯広域健康看護Ⅰ 老人看護学教授、日本老年看護学会代議員、日本老年行動科学学会指名理事。大学院看護学研究科では、老人看護専門看護師の育成にも関わっており、著書(分担執筆)に、超高齢者の全人的苦痛(超高齢者の緩和ケア、南山堂)や、認知症高齢者の家族の看護(最新老年看護学 第4版、日本看護協会出版会)などがある。

認知症にどう立ち向かうのか

「認知症」は病名ではありません。アルツハイマー病などに代表される進行性の脳疾患によって、記憶力の減退や物事の是非を考えて判断し、その場の状況に合った行動を取りにくくなる、といった症状が引き起こされる症候群です。2023年7月にはアメリカで新薬レカナマブが承認され治療薬としての期待も高まっていますが、完治することは難しく、その効果は“症状の進行を遅らせる”ことにあります。それゆえに、血圧管理、栄養バランス、運動や記憶力のトレーニングなどは“認知症を予防する”取り組みとして世界中の国々で取り上げられていますが、効果があるというエビデンス(根拠)は保証されていません。理由は、認知症の症状が中核となる記憶障害や見当識(時間、場所、人に対する理解)障害などが生活環境から影響を受けるため、「これをやったら、症状が治まる」という均一した方法が無いためです。

だとすれば、「予防すること」「なおすこと」だけが、私たちが第一義的に取り組むことと言い切れるでしょうか。また、認知症を予防することを社会の課題としてしまうと、はかrazも認知症を抱え持つこととなった人々を、社会から疎外してしまう恐れさえ出てまいります。そのような動きは、科学技術が発展し、人々の多様性が認められる成熟した社会に反してしまうと思いませんか？



認知症とどう付き合うのか

先にも述べたように、現時点で認知症を完治に導く治療はありません。しかも、認知症は自分の人生の歩み、大切な家族や身近な人々を不明瞭な事柄にしてしまう辛く悲しい症状です。しかし、発想を変えることはできます。「大丈夫、あなたのことは私たちが知っているし、覚えているから安心して!」というメッセージをもって認知症を抱え持つ人々やそのご家族に接していく、という関わり方は人間力にあふれた魅力的な地域社会づくりだと思いませんか？ 実際、「社会活動が多く、その質が良いことが認知症発症のリスク、進行のリスクを抑える」ということや、「よい対人交流や日々の暮らしの中で価値観が尊重され、満足感を得られる心理状況が、認知機能の低下を抑えることに関与している」という研究も報告されています。

誰しも、認知症を患いたくないという思いは同じだと思います。だからこそ、「認知症を予防する」「認知症をなおす」ことだけに心血を注ぐのではなく、認知症になっても住み慣れた地域で暮らすことができる、「認知症が怖くない」地域社会づくりを目指すことが人々の安寧を紡ぐ有意義なチャレンジだと言えるでしょう。

〈参考文献〉

- 三菱総合研究所ヘルスケア・ウェルネス事業本部：平成30年度構成科労働省保険事業推進費用等補助金(老人保健健康増進事業分)「海外の認知症予防等ガイドラインの整理に関する調査研究事業」報告書、2019年3月31日。
https://pubpj.t.mri.co.jp/pjt_related/roujinhoken/jql43u00000001m5-att/H30_158_2_report.pdf
- 齋藤正彦(2023)：高齢者の社会的孤立・孤独と認知症、老年精神医学雑誌、Vol.34(2)、p140-146。



話してくれたのはこの方!



高齢者にとってのIT^{※1}と アンビエント・コンピューティングの可能性

中央大学 特任教授
なめき ようこ
行木 陽子さん

日本IBMで技術理事としてAIテクノロジーを活用したワークスタイル変革、デジタルトランスフォーメーション分野を牽引後、中央大学特任教授に就任。産学連携のビジネス・プロジェクト講座、AI/データサイエンス講座を担当。超高齢化社会におけるテクノロジー活用の研究を進める。日本工学アカデミージェンダー委員会委員長、日本女性技術者フォーラム運営委員長を務め理工系分野の女性活躍推進に尽力。足利銀行社外取締役。平和堂社外取締役。

新型コロナウイルスの急速な拡大により、対面でのコミュニケーションが大きく制約を受ける中、家にいながら買い物をしたり、デバイス^{※2}越しに会話を楽しんだり、日常生活の中でデジタルサービスを利用する機会が増えました。しかしながら、高齢者によるこのようなサービスの利用はまだまだ限定的で、その機能を十分に活用している状況には至っていません。

高齢者のIT活用促進につながる目的と動機付け

高齢者がデジタルサービスに関心を示し使い続けるには、目的と動機付けが重要だと考えられています。例えば、遠隔地の友人や孫と話したい、好きな植物の名前を調べたいなど、具体的な目的があれば、その目的を達成するために多少難しい操作でも楽しく学び利用する事ができます。また、利用が進むにつれ、新しい目的を見つけて活用の幅が広がるなど好循環が生まれます。逆に、明確な目的がない場合、煩雑な入力操作に手を焼き、習得する意欲を無くしたり、「自分にはできない」と思い込んでしまったりすることもあります。操作につまずいた時、近くでサポートしてくれる家族や友人の存在も重要で、わからない事をすぐに質問できる環境こそが継続的な利用に繋がります。

高齢者に配慮したデジタルサービスの提供

一方で、サービスを提供する側の配慮も欠かせません。高齢者に広く受け入れられるデジタルサービスを提供するには、高齢者の特徴をよく理解し、その特性に配慮したインターフェース^{※3}を設計することが重要です。例えば、目の老化という現象ひとつとっても、いわゆる老眼の他に、周辺視野のぼやけ、光覚の減少、色を区別する能力の低下など様々な症状があります。このためフォントを大きくするという対応だけでは不十分で、一画面に表示する情報量を減らした

り、コントラストを強くしたりするなど多岐に渡る対応が必要になります。高齢者の認知機能・感覚機能・運動機能をきちんと調査した上で設計を進める必要があります。

人間の意図を汲み取り実行してくれる アンビエント・コンピューティングの可能性

以上はデバイスを人が操作することを前提としていますが、コンピューターが人の代わりに必要な情報を収集し、やりたい事を予測し実行してくれたらどうでしょうか。それを実現するのが、アンビエント・コンピューティングです。アンビエントとは、「周囲の」「環境の」という意味で、AI^{※4}やIoT^{※5}を通して私たちを取り巻く環境から情報を収集し、人間の指示に従って、あるいは指示を行わなくても、これまでの行動パターンや予測機能を使って、人間の代わりに操作してくれる“コンピューター”です。アンビエント・コンピューティング技術が身近に利用できるようになれば、高齢者でもストレスなく情報技術を活用できる超スマート社会の実現に一步近づくことになるでしょう。このような技術を誰もが身近に利用できるようになれば、高齢者も普通の生活のなかで空気のように最先端のテクノロジーを活用し、在宅のまま新しい学びや経験の機会を得たり、現役時代に培った専門知識を若い世代に伝えたりすることが可能になります。高齢者のクオリティ・オブ・ライフを高める事に繋がるに違いありません。

〈脚注〉

※1 IT…Information Technologyの略で、インターネットなどの通信技術やコンピューターを活用した情報技術の総称。

※2 デバイス…パソコン、スマートフォン、タブレットなどの機器のほか、これらの周辺機器(マウスやタッチペンなど)のこと。

※3 インターフェース…人間(ユーザー)がコンピューターを操作するための接点。

※4 AI…Artificial Intelligenceの略で、人工知能のこと。

※5 IoT…Internet of Thingsの略で、「モノのインターネット」と呼ばれる。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、新たな付加価値を生み出すこと。



シニアのネットトラブルにご注意！ スマホやパソコンは便利だけど…

兵庫県立消費生活総合センター

スマートフォンの幅広い年代への普及により、誰でも簡単にインターネットを活用できるようになりました。その一方で、70歳以上のシニア層によるインターネット上での消費者トラブルも目立つようになりました。

そこで、トラブルを未然に防止するため、また、トラブルにあっても早い段階で消費生活センターに相談してもらうことにより被害拡大を防ぐため、今回は、シニアが巻きこまれた代表的なネットトラブルと注意点を紹介します。

「1回きり」で終わらない契約ですよ！

定期購入(お試し購入)

ここに注意！

- インターネット上では、安さを前面に押し出す宣伝がみられますが、「初回」「モニター」「お試し」「体験」「トライアル」などの表現があれば、複数回購入することが条件の定期購入契約の可能性があります。
- 申し込む際は、商品・サービスの内容や取引条件・解約条件などを最終確認画面で慎重に確認しましょう。
- トラブルに備えて、申込みの最終確認画面のスクリーンショットや事業者への連絡履歴などの記録を証拠として保存しておきましょう！



「すぐ電話」は禁物！

セキュリティサポート詐欺

ここに注意！

- 実際には異常がないのに、偽の警告表示で不安をあおり電話をかけさせようとする手口です。
- 電話をかけた場合、オペレーターから有償サポート契約を強引に勧められ、代金の支払いを求められます。支払いのためにクレジットカード情報やコンビニで販売している電子マネーカードに書かれているコードを教えるよう指示される手口が多くみられます。絶対に電話をかけないでください！



「もう支払ったし…」、「何日も前の話だし…」、「勉強だと思って…」とあきらめずご相談を!

返金につながる場合もありますので、少しでもおかしいと思ったら、あきらめずに消費生活センター(局番なし188(いやや))にご相談ください。ご相談は、ご自身の被害回復に役立つだけでなく、注意情報への活用、事業者の指導・処分、法整備などを通じて、他の方への被害拡大防止にも役立ちます。





インターネット社会と 人権問題

(公財)兵庫県人権啓発協会

インターネットに関する人権問題

インターネットに関し、体験したことや、身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことを調査した結果をみると、「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」を挙げた割合が67.7%と最も高く、以下、「他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」(42.8%)、「プライバシーに関する情報が掲載されること」(42.5%)、「SNSなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」(37.0%)などの順となっています。なお、「特にない」と答えた者の割合は14.7%です(図表1)。

インターネットの普及やソーシャルネットワーキングサービス(SNS)の利用拡大といった ICTの普及により、情報の受発信が容易となっています。これにより、さまざまな情報を容易に入手可能になるなどのメリットも大きい、一方で、ICTやインターネットの利用によるトラブルも増加しているという負の側面も生じています。SNSなどによる交流が犯罪を誘発する場となる他、リベンジポルノなど性被害につながるケースも少なくありません。またスマホゲーム等での高額課金や健康被害なども問題の一端です。

そこで兵庫県では「気をつけて!とにかえしのつかないネットのトラブル 特設サイト」を立ち上げ、スマホやネットの利用による犯罪やトラブルに巻き込まれないようにTikTok

クリエイターによる動画やさまざまなデータ・事例から、便利で楽しいスマホに潜むリスクについて知り、日頃から気をつけてほしいと啓発を行っています。

「気をつけて!とにかえしのつかないネットのトラブル特設サイト」(<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kodomonosumaho/>)

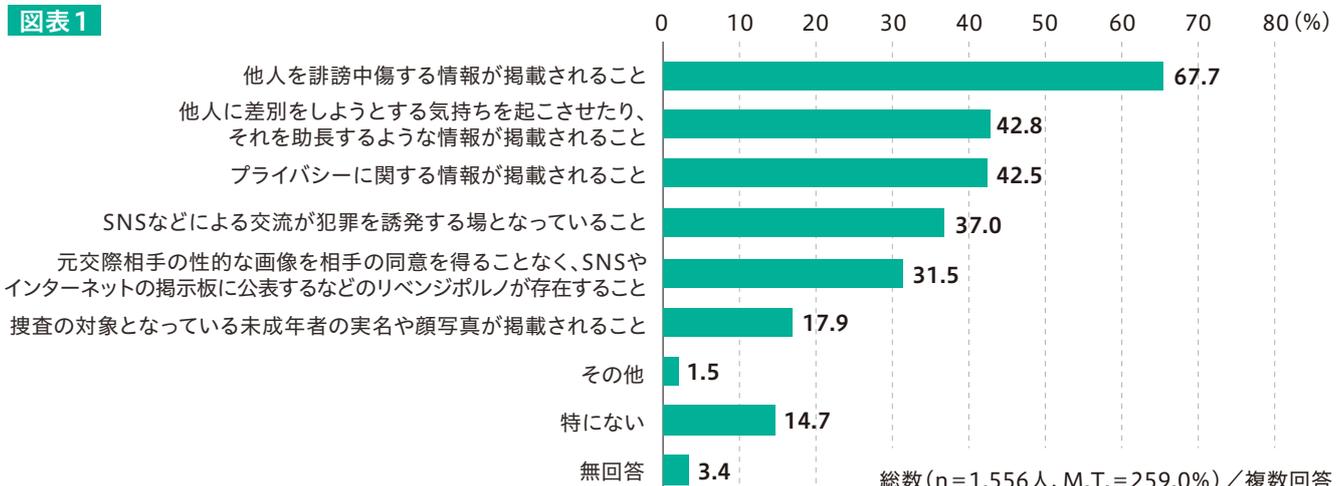
「誰一人取り残さない」デジタル化の推進

利用者にデジタルサービスを定着させ、利用を促すには、利用者のデジタルへの接触機会を少しでも増やし、デジタルを活用することの価値を実感してもらうことが重要です。そのためには、デジタルに接触する際の障壁を取り除く取組が引き続き重要となります。

「一人も取り残さない」とは、単にデジタルを活用できるようにするとの話だけでなく、さまざまな立場の人が、それぞれの立場に合わせて社会参画できるソーシャル・インクルージョン※を意味しています。少子高齢化が進む我が国において、国際競争力を維持し、社会・経済機能を継続して確保していくためには、労働参加人口の拡大という観点でもデジタル・リテラシーの底上げは非常に重要です。

※社会的包摂。社会的に弱い立場にある人々も含めた全ての人々を誰一人取り残さず、共に生き、全員が社会に参画する機会を持つこと。
(参考:総務省 令和3年度版 情報通信白書「誰一人取り残さない」デジタル化の推進 <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd133000.html>)

図表1



現代に求められる命の基礎

天台宗 姫路山
正明寺 法嗣

こばやし えしゅん

小林 恵俊さん

天台宗姫路山正明寺(兵庫県姫路市)法嗣。兵庫県立姫路西高等学校、京都府立大学文学部卒業、叡山学院専修学科修了。2019年には「H1法話グランプリ～エピソード・ZERO～」にて審査員奨励賞。2020年からはYouTubeやTikTokを通じて仏教について発信。2022年・2023年仏教伝道協会「一から学ぶ日本の仏教 天台宗編」講師。TikTokのフォロワーは9万7千人を超える。



自分を高めなければいけない社会

現代社会に生きる事は大変です。先日、テレビのCMを見ていて思ったことがあります。そのCMは、スマートフォンを使って、隙間の時間に学習ができるというアプリの広告でした。さまざまな本の内容を音声で読み上げてくれるというものです。CMの中では、日差しを浴びながらウォーキングを楽しむ女性が、ビジネス書を聴いて時間を有効に使っていました。僧侶である自分も、「移動の最中に勉強ができて便利かも!」と思い、アプリをインストールしました。

しかしながら、このような便利さを歓迎する一方で、現代社会の厳しさも同時に感じるのです。私たちは常に自分を高めていくことが求められているからです。手と目が塞がっていても耳が聴いている時間を隙間時間と捉えて自分磨きに邁進します。素晴らしいことではありますが、せわしないようにも感じます。ウォーキングの最中を隙間時間と捉えずに、風の音や生き物の声、街のざわめきを感じることを楽しみや目的の一つとしたままで、リラックスの時間としても、本来は充分なのです。

また、昨今はスキルを上げて、自分自身を成長させて魅力的な自分になれば、自分の成果が数字として反映されます。勉強や仕事の成績だけでなく、SNS上では「フォロワー」や「いいね」の数として、具体的に見えてきます。私たちは学び続け、成長していかなければならないという重圧を知らず知らずのうちに背負っているのかもしれない。そのため、思うように自分を高めて活躍できないと、「自分は価値のない存在だ」と自己嫌悪につながってしまうケースも少なくはないでしょう。

認めてもらえる人になりたい

一方で、承認欲求という言葉をよく耳にします。極端な場合には、誰かに自分のことを見てほしいという思いから、迷惑行為に走り、インターネット上に公開する人たちがいます。「世間から叩かれるのだからやめればいいのに」と思う時もありますが、それ以上に「認めてほしい」という感情に潜む根深い問題を感じます。

「承認欲求」は、しばしば見下されることがあります。「この人、承認欲求が強すぎて、みっともない」と言われます。しかし、他人に認められるということは、私たち人間にとって本当に大切なことです。私たちは他人から認められるからこそ、自分の存在を感じることができます。自分の個性は他者との関係の中で築かれていくものです。誰からも認められないとしたら、自分が透明人間になったように感じてしまうでしょう。すると、どんな方法を使っても自分を認めてほしいと願っても不思議ではありません。

能力を高めることで初めて認められる社会は、大きな問題を抱えています。能力があるから価値が出てくるのではなく、存在そのもの(命)に価値が認められるべきではないでしょうか。自分の存在そのものを認めてくれる人がいると、それが心の支えとなるはずですよ。



人は存在自体が尊い

以前に、私が僧侶として檀家さんのおじいさんの家へ伺った時のことです。その年のお盆は遠くに住んでいる息子さんとお孫さん達が帰省していました。まだ小学校低学年くらいのお孫さんたちは私の姿を見ると、恥ずかしかったのでしょうか、別の部屋へと走っていき、そちらで楽しそうに遊びはじめました。お経が始まってからも、おじいさんが何度か、「こっち来て一緒に座りんか」と声をかけておられましたが、姿は見せてくれませんでした。しかし、お経が終わって、おじいさんと世間話をしていたところ、お孫さんたちが顔を出して挨拶してくれました。その時、おじいさんが言ったのです。「お経さんの間、賢く座るんは難しいけどね、私からしたら、居てくれるだけで嬉しい子らやねん。」

私はおじいさんの言葉がとても尊く感じました。孫達が、ただ居てくれるだけで嬉しい。人の存在、命とはそういうものではないでしょうか。もしかしたら子どもの時には皆がそんな存在だったかもしれません。「生まれて

きてくれてありがとう」と、その存在を祝われたかもしれませんが、何がができるから認めてもらえる以前に、命として存在することが尊いのです。

「我あえて汝等を軽んじず、汝等は皆まさに仏となるべし。」

『法華経』というお経には、全ての人は本来、仏様と同じく尊い存在であることを信じ、出会う全ての人々に礼拝してまわった僧侶のお話が出てきます。その僧侶は時にはバカにされ、暴力を振るわれることもあったそうです。それでも、相手の行動に関わらず、人は尊い存在であることを信じ、礼拝し続け、心清らかな境地に達したと言われています。

確かに、私たちは自己を高める時代に生きています。しかし、土台が安定していなければ、何かを高く積みあげることは到底できないでしょう。大きな木は根っこが、大きな建物は基礎がしっかりしています。まずは人間としての基礎、つまり生命の尊さを認識することが必要であると思うのです。身近な人に、そこに居てくれている感謝を伝えてください。能力や成果以前に、命の存在自体を認め合える関係を築いていけるといいですね。

小林恵俊さんからの書籍紹介

「日本語の法華経」

著者：江南 文三 発行：大蔵出版 新訂版(1988/1/1) 定価：2,530円(税込)

本文中で『法華経』というお経の話をさせていただきました。『法華経』は古くから日本で親しまれてきたお経です。宮沢賢治など様々な文豪や芸術家にも大きな影響を与えたとされています。

『法華経』に関する本はたくさん出版されています。どれか一つおすすめするのは難しいのですが、江南 文三著『日本語の法華経』は、このお経の中で語られる物語の情景をよく描いていると思います。お経の世界観を知りたい方へおすすめさせていただきます。



information

「また、あちらで会いましょう」



著者：四宮 敏章 発行：かんき出版 定価：1,540円(税込)

皆さんは死とは何か考えたことはありますか。「誰もいつかは死ぬ」という事実を受け入れ、自分自身の死について、自分の大切な人たちの死について、どのように考えているでしょうか。

四宮医師は、「死を考えることは、生を考えることだ。」と述べ、人が死に対する恐怖心を抱くのはその実情を知らないからではないか、死を知ることから生きることを前向きに考えられるようになるのではないかと捉えています。一万人以上の患者さんとの関わりの末に学ばせてもらったという人生最後の一週間を受け入れる方法について共に考えていける作品です。



国際社会と人権

Vol.03

現在、理解がますます求められる「人権」について、国際機構論を専門とする望月先生と考えてみましょう。

今回のテーマ

ジェンダーギャップ 指数

もちづき やすえ

関西学院大学法学部 教授 望月 康恵さん



関西学院大学法学部教授、前人権教育研究室室長。専門は国際法・国際機構論。著書に『新国際人権入門—SDGs時代における展開』（共著）、『移行期正義—国際社会における正義の追及』（単著）など。

2023年6月に、毎年恒例の、グローバルジェンダーギャップ指数（ジェンダーギャップ指数）が世界経済フォーラムから発表されました。日本は、世界146か国のうち125位にランキングし、これまでで一番低い位置づけです。G7諸国の中で最下位、東アジア太平洋19か国においても最下位です。指標の具体的な内容を見ていきましょう。

ジェンダーギャップ指数は、「経済参加と機会」、「教育到達度」、「健康と生存」、「政治的エンパワメント」の4分野におけるジェンダー平等の現状と進展を指標化しています。

「経済参加と機会」では日本は123位です。これには、労働力比率、報酬、地位向上の3つの指標が含まれます。労働力比率の格差は81位、同種労働同一賃金は75位、推定勤労所得は100位、男女の地位向上の格差（議員、政府高官、管理職と技術職・専門職の男女比）は133位です。

「教育到達度」において日本は47位です。ここでの指標は、初等・中等・高等教育における男女の就学率と識字率です。日本は、初等・中等教育と識字率では1位、つまりジェンダー平等が達成されていますが、高等教育の

ランキングは105位です。

「健康と生存」は59位です。出生時の男女比と健康寿命の差により、男女の健康状態の違いが確認されます。出生時の男女比については日本は1位でジェンダー平等が達成されています。一方、健康寿命は69位です。

「政治的エンパワメント」は138位です。この指標は、議員や閣僚、行政府の長の在任年数の男女比を通じて、政治意思決定における男女の格差を測定します。日本は、女性の議員の割合は131位、閣僚は128位、行政府の長の在任年数は80位です。

日本のジェンダーギャップ指数からは、とくに意思決定における著しい格差が確認されます。意思決定の構成にジェンダー上の偏りがあれば、構成員である人々の意見が政策に十分に反映されない可能性が出てきます。この指数を参考に、今後どのようにジェンダー平等を実現していくことができるのか、さらなる検討が求められます。

気になる用語をCheck

☑ ジェンダーギャップ

男女の違いにより、生じる格差のこと。経済活動や政治への参画度、教育水準、出生率や健康寿命などから算出されている。

知ってる？

きずなの
きっかけ

令和5年度人権啓発映画

“こんにちは、母さん”

新しい楽しみを見つけて若々しく過ごす母の姿に、自分を重ねて見つめなおす

あらすじ 昭夫は東京の大手企業の人事部長。大資本が個人の人生を左右する、その代理人といえます。そんな彼の友人がリストラの対象となり、それを知りながら黙っていた昭夫に友人は激高します。私生活も崩壊寸前、疲弊した昭夫は下町で足袋屋を営む母を訪ねます。久しぶりに会う母は以前より若々しい装いで、ホームレス救済の活動に忙しく、恋まですしている。母の変化やお節介な下町の人たちに昭夫は戸惑いながらも、いつか見失っていた優しい気持ちを取り戻していきます。

山田洋次監督は1972年の『故郷』で、慎ましく生きることだ

けを望む人が住み慣れた故郷を離れなければならない競争社会に疑問を呈しました。今の私たちは自分たちを勝者と敗者に分けることを当然のように受け入れています。しかし私たちは本当に、そのようにしか生きられないのでしょうか。

監督／山田洋次 **原作**：永井愛／**キャスト**：吉永小百合、大泉洋／2023年／日本／110分／**配給**：松竹



©2023「こんにちは、母さん」製作委員会

9月1日より 全国公開

ふれあい サロン

とても便利な

投稿&クロスワードで
オリジナルエコバッグを
プレゼント!

問 アルファベットを順番に並べると、何という言葉になるでしょう?

1	D	2		3	H	4	
		5	J	6			
7	8	E				9	C
	10			A			
11					12	F	13
		14		15	B		
16			G		17		K

たてのカギ

- 帆を張って進む船
- 十二支ではねずみとトラの間
- 起立と着席の間にする学校もあります
- 壺焼きなどにして食べる貝
- パートナーを大切にしている夫
- 海やプールで浮かぶことができます
- 押して捺印します
- 寝ている間にグーグーかきます
- 病気やケガなどの人を診る職業
- 雨が多いこと
- みそ煮やきずしなどにして食べます



よこのカギ

- 政権を握っていない方は野党、では政権を握っている方は?
- くさりのようにつながっている状態 _____ 反応 食物 _____
- スポーツなどの対戦
- 太陽の _____ バベルの _____
- ウジ虫が成長するとなります
- コーヒーを飲み一服できる飲食店
- 石よりも大きい
- 「過失」の反対語。わざと
- 直方体の体積は縦×横× _____ で求められます
- 2で割り切れない数
- 馬の力で人を運ぶ乗り物

7・8月号の答え **ブラックサベツカイショウ**

読者からのお便り 7・8月号を読んで

私達の時代はSNSなどなかったのである意味、幸せだったのかもしれませんが。今はプライバシーが、公開されるような形で若者はきびしい世界かもしれないですね。

(神戸市 じゅんさん)

初めて行ったドラッグストアのセルフレジで、ちょっと手間取っていると、すかさず横にいた若いママさんが教えてくれました。とてもありがたかったです。次回、困っている人がいたら私が教えてあげようと思っています。(播磨町 ユノの母さん)

「読者からのお便り」の投稿掲載者(令和5年11・12月号)とクロスワードの正解者(抽選で10名)とに、「オリジナルエコバッグ」をプレゼント。本誌「きずな」へのご意見や感想、人々とのふれあいを通じた心温まるエピソードなどを募集しています。どしどしご投稿、ご応募ください。

※投稿掲載時はペンネームの使用も可能です。※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

はがき、FAX、Eメールで受け付け。クロスワードの答え、郵便番号・住所、名前(ペンネームを使用の場合も要併記)、電話番号、年齢、職業、本誌へのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。

締め切り **令和5年10月20日(金)必着**

応募先

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目22番15号 県立のじぎく会館内(公財)兵庫県人権啓発協会 「きずな」ふれあいサロン係
TEL:078(242)5355/FAX:078(242)5360
Eメール:info@hyogo-jinken.or.jp

*応募者および投稿者の個人情報は管理を適切に行い、誌面づくり以外の目的には利用いたしません。



兵庫県 いのちと心のサポートダイヤル

兵庫県では、相談機関の少ない夜間や休日に、自殺を考えるほどつらい悩みを抱える人やその家族が相談できる電話相談窓口として「兵庫県いのちと心のサポートダイヤル」を開設しています。



電話番号 **078-382-3566**

相談日 月～金曜 18時～翌8時30分
土曜・日曜・祝日は24時間

対応 精神保健福祉士・臨床心理士等

兵庫県いのちと心のサポートダイヤル LINE電話相談



開設時間 毎日8時から21時30分まで

※LINE電話による電話相談のみです。トークによる相談は行っていません。

対象 兵庫県内に在住、在学、在勤の方

登録方法

方法① LINEのID検索

方法② 右記

@nyl0284n



QRコードを

読み込み▶



(アットエヌワイエルゼロ284エヌ)

SNS等による人権侵害に関する啓発コンテンツ



法務省では、一般社団法人ソーシャルメディア利用環境整備機構及び総務省と共同して、SNS利用に関する人権啓発サイトを開設しています。このサイトは、一般社団法人ソーシャルメディア利用環境整備機構に参加する全17事業者が管理するSNS等でも、発信されず。

サイトには、SNSを利用する際のルールや、ブロック、ミュートなどのユーザー保護機能の活用方法や、SNSの投稿の削除手順等が掲載されています。

ぜひご覧ください。

#NoHeartNoSNS
特設サイト



<https://no-heart-no-sns.smaj.or.jp/>

ひょうご人権ジャーナルきずな「読者アンケート」ご協力をお願い

「ひょうご人権ジャーナルきずな」をよりよい人権情報誌にするため、アンケートを実施しています。アンケートは協会ホームページの最新情報、二次元コードから直接アンケートフォームへアクセスしてご回答ください。ご協力をよろしくお願いいたします。

読者アンケートフォーム

回答期限

9月15日(金)～10月16日(月)

兵庫県人権啓発協会

新着情報に掲載しています。

アンケートは
こちらから▶



谷 五郎の 笑って暮らそう



ラジオ関西「谷五郎の笑って暮らそう」(毎週火曜日10:00～13:00)の12:30頃から、「ハートフル・フィーリング」のコーナーで「きずな」の記事の紹介や寄稿者へのインタビュー等を発信しています。



今号の記事に関連した人権クエスチョンを表紙で取り上げています。

今号の表紙は淡路島。人気の名所も多く、秋の行楽にもぴったりですよ。

世界で最も早く高齢化が進み、4人に1人が高齢者(65歳以上)となった日本。それに伴い、高齢者にまつわる人権問題が大きく取り上げられるよ

うになってきました。一方、日常に生きがい(喜びや楽しみ)を持つ高齢者は約80%※。家族・社会活動・仕事における役割の有無が生きがいにつながっているようです。1人1人の能力や個性を生かし、自分らしい年の重ね方をしていきたいですね。

※出典:「高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査結果(令和3年度)」

「きずな」は、当協会ホームページからもご覧になれます。

兵庫県人権啓発協会



兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会 〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじごく会館内
TEL 078(242)5355 FAX 078(242)5360 info@hyogo-jinken.or.jp